

会 議 録（４月）

平成 29 年 4 月 21 日
教育委員会会議室

1. 出席委員 教育長 猪野 貴一 教育長職務代理者 松本 学
 委員 興梠 瞳 委員 石井 勇
 委員 寺本 俊文
2. 事務局 教育次長 武内 秀元 指導主事 渡木 秀明
3. 書 記 教育次長 武内 秀元
4. 報 告
 (1) 平成 29 年度五ヶ瀬町立学校学級編成及び学級担任について
 (2) 平成 29 年度五ヶ瀬町立学校「学校訪問」の実施について
 (3) 定例教育委員会議事録署名委員について
5. 協 議
 (1) 総合教育会議について
 (2) 佐伯勝元教育基金の運用について
6. その他
 (1) 法改正の経過措置による教育委員の任期の調整について
 (2) 五ヶ瀬町学校支援地域本部平成 28 年度事業報告について
 (3) 平成 29 年度学校職員名簿について
 (4) 第 10 回創作クラフト展の開催について
 (5) 平成 29 年度教育委員会事務局職員体制について
 (6) 教職員全体懇親会について

連絡事項

- (1) 教育委員会行事予定（4・5月）について

会 議 録 午後1時57分開会

教育長 あいさつ

議事録署名委員：松本 学 委員

Q・・・Question（質問）、A・・・Answer（回答）

O・・・Opinion（意見）

E・・・Explanation（説明）

【4 報告】

1 平成29年度五ヶ瀬町立学校学級編成及び学級担任について

① 資料に基づき、渡木指導主事が説明する。

- ・鞍岡小学校は、児童数36名で、3年生・4年生が複式学級、5年生・6年生が複式学級となる。複式学級解消のため、町費負担非常勤教職員を2名配置する。
- ・三ヶ所小学校は、児童数60名で、複式学級はない。特別支援学級に県費負担の常勤講師を配置する。通級指導教室にも1名の県費負担常勤講師を配置する。
- ・坂本小学校の児童数は36名で、3年生・4年生が複式学級、5年生・6年生が複式学級となる。複式学級解消のため、町費負担非常勤教職員を1名配置し、県費負担常勤講師を1名配置する。
- ・上組小学校は児童数36名で、2年生・3年生が複式学級、5年生・6年生が複式学級となる。複式学級解消のため、町費負担非常勤教職員を1名配置し、県費負担常勤講師を1名配置する。
- ・五ヶ瀬中学校は生徒数72名で各学年1学級となる。支援学級を配置する。

(質疑)

Q1 中学校には、講師はいないのか。

A1 3年目となる講師が1名いる。大変指導力のある講師である。

Q2 中学校の生徒数は何人か。

A2 1年生が22名、2年生が28名、3年生が22名である。支援学級が2名であり、1年2組という言い方になる。

2 平成29年度五ヶ瀬町立学校「学校訪問」の実施について

① 資料に基づき、渡木指導主事が説明する。

- ・小学校4校、中学校1校の訪問をお願いしたい。時間は、午前9時から11時頃までとなる。内容は、学校経営説明、参観、施設見学となる。
- ・訪問日の調整をお願いしたい。各学校の第一希望を選んだ結果、5月22日(月)から5月25日(木)まで4日間連続となった。三ヶ所小学校については、5月31日(水)となった。

(質疑)

E1 日程については、このような形でさせていただくが、学校によっては時間がずれることがある。そこは学校に合わせて行う。資料については、このために仕事をするとかではなく、日々の授業・活動を観に行くというスタンスなので、過度な接待等はしないようにと伝えている。

Q1 昨年、授業参観の時間が短かったので、もう少し授業の様子を観たい。

A1 学校経営説明の時間を15分短縮し、授業参観の時間を多く取った。

(決定事項)

学校名	訪問日	松本委員	興侶委員	石井委員	寺本委員
坂本小学校	5月22日 月	○	×	○	○
上組小学校	5月23日 火	○	○	○	○
五ヶ瀬中学校	5月24日 水	○	○	○	○
鞍岡小学校	5月25日 木	○	×	○	○
三ヶ所小学校	5月31日 水	○	×	○	○

・ 5月24日（水）の五ヶ瀬中学校訪問時に、教育委員は給食を食べる。

3 定例教育委員会議事録署名委員について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・ 年間の会議録署名委員を作成した。臨時教育委員会についても、その月の委員に署名をお願いしたい。

(質疑)

なし

【5 協議】

1 総合教育会議について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・ 協議する内容は、鞍岡中学校跡地問題及び学校給食共同調理場の2点を考えている。
- ・ 中学校跡地については、5月8日か9日の10時から鞍岡地区の若手10名が町長と意見交換をしたいとの申し出がある。署名活動をされていたので、それを持って来られるのではないか。
- ・ 日程については、町長のスケジュールが空いている5月24日（水）を考えている。次回の定例教育委員会の日程と合わせる。

(質疑)

- E1 跡地利用は課題となっている。前回の議事録を読んでみたが、複合施設という方向性が出ているようである。実際、この日にどんな話しが出てくるか分からない。教育委員会の方向性としては、複合施設ということで進んでいる。署名がどのような形で出てくるか分からないので、それを見極めて話しをさせていただく。どんな内容で、どんな説明をした上で署名を取られたのか、子どもの事がどれだけ入っているか、そこをこちらから聞くということになる。こちらからの方向性を示すのは差し控えるべきだと思っている。

Q 1 鞍中跡地の意見交換には、教育委員会側からは出席するのか。

A 1 町長及び副町長で、教育委員会からは教育長、教育次長が出席する予定である。

Q 2 給食調理に関しては、あれから（12月の総合教育会議以降）進んでいるのか。

A 2 年に4回、四半期に一度、庁議を開催しているが、3月末の庁議でも平成23年度に進めていた共同調理場について、その方向で進めるように言われている。当時の職員に確認したら、平成22年度は共同調理場を推進していたが、平成23年度に白紙に戻したと言われた。それをしっかり上に伝えて、再度一から協議することを考えている。庁議以外に関係者で協議した方が良く考えている。

（決定事項）

- ・ 5月24日（水）の午後3時から総合教育会議を開催する。
- ・ 協議内容は、鞍岡中学校跡地問題及び学校給食共同調理場の2点とする。

2 佐伯勝元教育基金の運用について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・ 平成26年度に1,000万円の寄付をいただき、佐伯勝元教育基金を設立した。
- ・ 今後、一括して1億円程度の寄付をいただくことになるのではないかとということである。
- ・ 平成25年度中に大きな4つの柱（児童生徒海外派遣事業、芸術・文化体験事業、教育現場支援事業、奨学金事業）を協議し、この4つの柱は変えずに今回、それぞれの事業の中身を見直した。
- ・ 児童生徒海外派遣事業は、第1回目を平成26年度に行い、ドイツに派遣している。今回、第2回目を行うことになるが、先日、課内で協議し、元々東アジアを中心とするとしていたことから、出来るだけ安全な場所として台湾を選定した。ドイツは、児童生徒7名、引率3名であったが、今回は費用が安価で済むことから、もう少し枠を広げられるのではないかと考えている。選考方法については、今後検討する。前回、教育委員にもお願いしている。
- ・ 芸術・文化体験事業は、中学生の修学旅行時に一人3,000円の助成を行い、舞台鑑賞を行っている。宮崎国際音楽祭への中学生派遣を平成30年度から考えている。また、本町に呼んで舞台芸術等の鑑賞会を実施したいと考えている。
- ・ 教育現場支援事業は、図書や書棚等の購入が一つと、子どもを支える教職員の資質向上研修を考えている。これは、教育ビジョン費の予算が毎年、280万円程度付いていたが、今年度は240万円程度で、教職員の自主研修費用がカットさ

れている。この分は補正予算でも要求する考えでいるが、予算次第では基金の活用も考えたい。

- ・奨学金事業は、町出身者で医学部や農学部に進学する生徒へ奨学金を貸与若しくは給与することを検討しているが、貸与であれば元本が減ることはないが、給与であれば何年も持たない可能性がある。副町長からは、海外留学時に例えば100万円を給付してはどうかという提案があった。医学部、農学部に限らず海外留学時の給与というのも考えられるのではないか。

(質疑)

Q 1 社会教育の振興とあるが、どの事業がこれに当たるのか。

A 1 図書館における図書の整備や舞台芸術等の鑑賞の実施を考えている。舞台芸術鑑賞は子供たちだけではなくて、町民の方にも鑑賞いただきたいと考えている。

Q 2 1億円見込めるといのは一括なのか。

A 2 時期は分からないが、一括でということである。総額で1億円なのか、これから1億円なのか分からない。1千万円いただいているので、9千万円なのかもしれない。

E 1 基金の運用になってくるので、総額は分からないが、町長なり私なりが行って、ごあいさつを兼ねて説明に行かなければならないと考えている。子供たちに還元したい、学校現場の足しにしてほしいということというのが主であって、社会教育の振興に関しても活用を図って行きたい。佐伯勝元さんは、「町の子供たちが立派に育ち、故郷のことを忘れず、社会のために役立つ子供の成長」という言葉を使われているようなので、ここが元になると思う。

Q 3 奨学金事業の医学部と農学部というのはどこから出たのか。

A 3-1 医学部に進む生徒が少ないというので、今、中学2年生が病院の手術室を借りて縫合体験をしている。子供たちが医者になって五ヶ瀬に帰って来るとというのが我々の希望である。農学部を卒業して、五ヶ瀬に帰って来て農業をするというのが当初の考え方であった。

A 3-2 説明を受けたのは、町の課題である医療、それと農業を重点化したいということでこの項目になった。言われるとおり、もうちょっと柔軟性を持たせないと難しいこともあるかもしれない。そこについては、この指針を作る時にそこが上手く行くようにしないといけない。一番難しいのはここだと思う。

Q 4 - 1 図書館の話が出たが、図書館が出来た時に専門職員を配置しなければならないのか。

A 4 - 1 図書館司書、この免許は持っておかないと町としては恥ずかしい。

Q 4 - 2 そういう人を養成するのか。

A 4 - 2 必要だとは思う。1. 2年教育大学で取れる。造るのであれば、きちんとした図書館を造りたいし、そこが複合施設として子供たちの学びの場として、休日を含めて交流の場になれば、そういう機能をしっかり持たせたものにしたいと、今ある場所を改修するのではどうかなという意見をした。図書館を造ってから、図書関係にこの基金を投入しようと、あと各学校の図書の充実にも使えるというスタンスで行かないといけないうらうし、鞍岡中学校の跡地問題をどうして行くか、このあたりが絡んで来るのではないか。

E 2 今回の海外派遣事業は、7月か8月に台湾を考えており、直ぐに日程等を決めて募集しないと間に合わない。

E 3 台北に日本人学校があり、その校長は宮崎県から出向しているのて、交流したいと電話をしたが、夏休み明けで難しいようである。ただ、そこに寄ることは出来るかも知れない。

【6 その他】

1 法改正の経過措置による教育委員の任期の調整について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・平成27年4月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成27年4月から平成31年3月までの期間で教育委員の任期の調整を行うことが出来るようになった。
- ・現在の任期は調整出来ないのて、平成31年3月までに任期満了を迎える場合、次の任期を調整する。
- ・本町では、この経過措置に2名が該当するが、必ず調整しなければならないものではないのて、調整が難しいのであれば、現在のまま調整しない方向で行きたいという考えで、協議事項ではなく、その他の事項とさせていただいた。

(質疑)

なし

2 五ヶ瀬町学校支援地域本部平成28年度事業報告について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・国の学校支援地域本部事業が正式名称であるが、本町では「おたすけ隊」と呼んでいる。
- ・各小・中学校で地域の方々にボランティアで協力いただき、教育ビジョンの中の

豊かな体験活動を推進しており、10年目を迎えている。

(質疑)

E 1 児童生徒数が、昨年240名程度であったが、おたすけ隊も延べ240名程度の方に協力いただいている。子供一人に対して、1名の協力をいただいているのは素晴らしいことではないかと思う。本年5月には、北部教育事務所管内で五ヶ瀬の取り組みについて、是非、話をして欲しいということで佐藤コーディネーターをお願いしている。11月には県民総ぐるみ運動で五ヶ瀬中学校が発表をすることになっている。町民の協力が県内で注目を浴びている。

E 2 この他に（登下校時の）交通指導と一緒に登校していただく活動とか見守り活動もカウントすると凄いことになる。他の学校はそこまでカウントしているが、本町は純粹に学校に関わった数になるので、自信を持って良いと思う。

3 平成29年度学校職員名簿について

① 資料に基づき、渡木指導主事が説明する。

- ・全ての学校関係職員の名簿となっている。丸の数字は現職で何年目かを表示している。
- ・もう1枚は、異動者名簿を付けている。前任校がわかるようになっている。

(質疑)

E 1 講師のところを見ていただきたいが、こんなに講師の方が集まる中山間地域は他にない。これは自信を持って良い。都市部でも講師が見つからなくて苦勞している。講師無しではやって行けないような状況であり、五ヶ瀬に魅力を持たないといけないので、佐伯勝元氏の基金で他では呼べない講師等の招聘や研修の実施を入れているところである。名医を呼びたいので、講師の方も良い方が来てくれていると思っている。講師に教育委員から良く来てくれたと言っていたらと有難い。

4 第10回創作クラフト展の開催について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・4月20日から5月14日までの25日間開催する。昨年は熊本地震の影響で1週間短縮して開催した。

(質疑)

なし

5 平成29年度教育委員会事務局職員体制について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・今年度は、社会教育グループが1名増員となり、町史の再編さんを行うこととなる。

(質疑)

なし

6 教職員全体懇親会について

① 教育次長が説明する。

- ・5月1日(月)に開催する。
- ・今回から役場管理職にも案内しているので、全員参加になれば100名を超えらると思う。

(質疑)

なし

全体を通しての質疑

Q1 以前、図書館建設の計画があったようであるが、どれくらいの予算規模であったのか。

A1-1 1億5000万円程度であった。以前の設計図では、図書館と教育委員会が併設になっていたが、この設計図通りには(スペースの問題で)出来ない。図書館だけか複合施設になるのではないか。

A1-2 本を読みに来るというだけではないので、高齢者が集まるサロンであったり、地域おこし協力隊のように起業を考えている方が活用出来る場、英語が堪能であれば英会話教室を開いてもらったり、色々そういうアイデアを出して行きたい。

連絡事項

1 委員会の4・5月行事予定

- ※ 一覧表により次長が説明する。

次回の定例教育委員会日程

5月24日(水)午後4時30分頃 総合教育会議の後に開催する。

閉会時刻 午後3時3分

教 育 長

会議録署名委員

会議録調整者